

# 市長定例記者会見

平成29年10月3日（火） 午前10時

- |                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| 1. 鹿児島市民表彰の授与                    | 1 P |
| 2. インドネシア・スレマン県知事等の本市訪問          | 2 P |
| 3. いよいよクライマックス！明治維新150年カウントダウン事業 | 3 P |
| 4. 障害者地域生活支援拠点の運用開始              | 5 P |
| 5. コミュニティサイクル「かごりん」のサイクルポートの新設   | 6 P |
| 6. 女性と仕事 応援を続けています！              | 7 P |
| 7. 合併50周年記念 第38回谷山ふるさと祭          | 8 P |
| 8. おすすめイベント情報～まちの輝きを感じる秋         | 別冊  |



アジアアン・かごしま2016の様子

人・まち・みどり みんなで創る  
“豊かさ” 実感都市・かごしま

# 1. 鹿児島市民表彰の授与

今年度の鹿児島市民表彰の受賞者に、海江田 順三郎 氏と米山 昭規 氏を決定した。

## 鹿児島市民表彰の概要

永年にわたり市勢の発展に尽力し、又は市政に協力してこられ、その功績が特に顕著な市民などをたたえる表彰制度として、鹿児島市制125周年・新生鹿児島市10周年を機に、平成26年度創設したもの。

## 1 受賞者及び表彰理由

かいえだ じゆんさぶろう  
海江田 順三郎 氏（89歳 鹿児島市在住）

- 鹿児島市日中友好協会会長（平成14年9月～現在）などの要職にあつて、海外との多彩な交流を支援するとともに、国際意識の高揚と多文化共生の地域づくりに積極的に取り組み、本市の国際交流の推進をはじめ、様々な分野において市勢の発展に大きく貢献された。
- 今年で友好都市締結35周年を迎える長沙市との友好交流の架け橋となり、両市の交流活動の促進に尽力されるとともに、鹿児島市教育委員会委員（昭和61年6月～平成10年6月）、鹿児島市水道局経営審議会会長（平成元年6月～平成17年11月）など、市政の多方面において尽力された。



海江田 順三郎 氏

よねやま あきのり  
米山 昭規 氏（77歳 鹿児島市在住）

- 鹿児島市民生委員児童委員協議会会長（平成19年12月～平成28年11月）などの要職にあつて、民生委員・児童委員の地位向上と後進の育成に取り組み、地域住民の福祉の向上と安心して暮らせる社会づくりに大きく貢献された。
- 全国民生委員児童委員連合会副会長（平成26年2月～平成28年11月）及び鹿児島県民生委員児童委員協議会会長（平成20年1月～平成28年11月）を務めるとともに、地域住民のよき相談相手として、地域に密着した活動に取り組み、地域福祉活動の活性化とボランティア活動の支援など地域の課題解決に尽力された。



米山 昭規 氏

## 2 表彰式

- (1) 日 時 11月1日（水）14時～14時50分  
(2) 場 所 鹿児島市役所 東別館9階 特別会議室

### 【参考】これまでの鹿児島市民表彰受賞者

年 度	氏 名
平成26年度	豊永 義夫 氏
	吉田 ミツ江 氏
平成27年度	西郷 幸夫 氏
	永田 明子 氏
平成28年度	松田 政信 氏
	肥後 辰彦 氏

■ 問い合わせ  
総務部総務課  
099-216-1125

## 2. インドネシア・スレマン県知事等の本市訪問

市長が7月に大規模噴火対策の現地調査のため赴いたインドネシアから、メラピ火山に関する防災関係者の視察団が来鹿する。それに合わせ、調査時にご協力いただいたスレマン県知事や京都大学井口教授等による危機管理セミナーを開催し、またスレマン県との間で火山防災を中核とした交流促進に関する覚書を締結する。

メラピ火山に関する防災関係者の来鹿… JICA関連のプロジェクトとして京都大学が進める「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS)」の「火山噴出物の放出に伴う災害の軽減に関する総合的研究」により、10月23日(月)～27日(金)の5日間の日程で来鹿し、桜島の火山対策視察を行う。

### 1 訪問者

スレマン県知事ほか、スレマン県等インドネシアの自治体防災関係者、国の防災関係機関の研究者など計25人

### 2 主な予定

#### (1) 市長表敬訪問

① 日 時 10月24日(火) 10時～10時30分

② 場 所 市役所東別館9階特別会議室

#### (2) 危機管理セミナー

① 日 時 10月25日(水) 10時～12時

② 場 所 中央公民館

③ 対 象 市職員、自主防災組織の会長など

④ 概 要 大規模噴火の被災経験を持つスレマン県知事と、京都大学井口教授によるセミナー  
(大規模噴火の被災経験を踏まえた自治体職員としてのあるべき心構えや対応、市民がとるべき行動などをテーマとする予定)

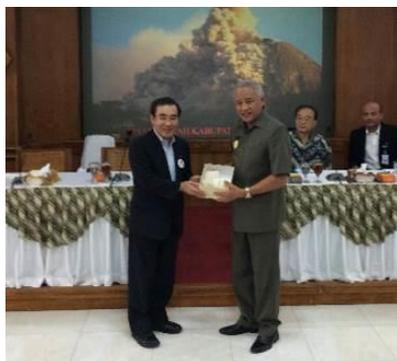
#### (3) 本市とスレマン県との覚書の締結

① 日 時 10月25日(水) 18時から

② 場 所 サンロイヤルホテル

③ 覚書の概要 火山防災を中核とした交流促進

### 7月のインドネシア訪問時の様子



市長とスレマン県知事



スレマン県防災関係者との意見交換

■ 問い合わせ  
危機管理課  
099-216-1513

### 3. いよいよクライマックス！ 明治維新150年カウントダウン事業

来年の明治維新150周年という大きな節目と、大河ドラマ「西郷どん」の放送を目前に控え、平成24年度から開始した「明治維新150年カウントダウン事業」について、“維新のふるさと鹿児島市”をより一層アピールし、盛り上げるイベントを実施する。

今年度は、パリ万博・鹿児島紡績所操業開始・異人館完成から150年を迎えることから、「国際外交の桜舞台に躍り出た薩摩」をテーマに掲げ、イベントの中にも織り込んでいる。

#### 1 林真理子トークショー ～私の描く西郷どん～

来年の大河ドラマ「西郷どん」放送を目前に控え、原作者 林 真理子氏によるトークショーを開催する。

- (1) 日時 11月2日(木) 13時30分～15時(13時受付開始)
- (2) 場所 サンエールかごしま
- (3) 定員 400人(超えたら抽選)

※申し込みははがき、FAX、メールで林真理子トークショー事務局(株舞研内)へ



林 真理子 氏  
(撮影/ホンゴウユシ)

#### 2 明治維新コレクション

イベント全体を「明治維新コレクション」と称し、市内各地でさまざまな取り組みを実施する。

イベント名	日時・場所	内容
(1) 屋台村大収穫祭～ここから始まる明治維新150年～	10月20日(金)～11月19日(日) 屋台村	期間限定の維新メニューを各店舗にて提供(演劇やなんこ大会もあり)
(2) なるほど幕末明治維新バスツアー ～パリ万博参加編～	10月25日(水) 9時～17時	パリ万博ゆかりの地を巡るバスツアー
(3) まち歩き「スタンプラリーまち歩き」	10月21日(土) 13時30分～15時30分	市内の明治維新ゆかりの地とスタンプラリーを楽しむまち歩き
(4) 食講座「西郷さんも上手だった“味噌”玉づくり」	10月28日(土) 14時～16時 マルヤガーデンズ	味噌玉づくりを体験する食講座
(5) 明治維新150年カウントダウン維新食めぐり	10月20日(金)～11月19日(日) 屋台村 10月15日(日)～11月30日(木) マルヤガーデンズ	明治維新にちなんだオリジナルメニューを各店舗にて提供
(6) 明治維新人物名鑑スタンプラリー	10月15日(日)～11月30日(木)	市内を巡るスタンプラリー
(7) クイズ大会「西郷王決定戦」 【予選】 ①山形屋杯 ②アミュプラザ杯 ③屋台村杯 ④マルヤガーデンズ杯 【決勝戦】	10月15日(日) 北埠頭 11月5日(日) アミュプラザ鹿児島 11月19日(日) 屋台村 11月23日(木・祝) マルヤガーデンズ 12月16日(土) 維新ふるさと館	西郷隆盛や明治維新に関する知識を競う、一般参加型のクイズ大会

### 3 薩摩維新ふるさと博 ～維新と出逢う時間旅行～

西郷隆盛や大久保利通等の偉人の生まれ育った地において、幕末・維新期の薩摩の雰囲気を感じることができる「薩摩維新ふるさと博」を開催する。

#### (1) 日 時

10月20日(金)～22日(日)、28日(土)、29日(日)の5日間

10時～17時 ※20日は11時開始

#### (2) 場 所

歴史ロード“維新ふるさとの道”(加治屋町)

#### (3) 内 容

- ・幕末・維新期の衣装を着た「薩摩維新おもてなし隊」によるおもてなし
- ・お芝居、郷土芸能、示現流・葉丸自頭流演武などの披露
- ・幕末・維新期の雰囲気を感じられる飲食ブース等の設置
- ・さつま琵琶、示現流・葉丸自頭流体験、維新期の衣装の試着、射的などの体験企画
- ・遠島を命じられた西郷隆盛が入った牢屋をイメージした牢獄体験



昨年の薩摩維新ふるさと博の様子

■ 問い合わせ  
明治維新150年・西郷どん推進室  
099-803-8671

## 4. 障害者地域生活支援拠点の運用開始

地域で生活する障害者の不安の解消を図り、障害者及び家族が安心して生活できるよう、「障害者地域生活支援拠点」の運用を開始した。なお、この取り組みは県内では初めてである。

### 1 開始日

10月1日（日）

### 2 内容

- ・次の業務を社会福祉法人に委託する。
  - ① 24時間365日の緊急対応（相談、一時受け入れ）
  - ② 施設等から地域生活への移行を希望する障害者に対してグループホームやショートステイを利用した地域生活の体験の場を提供
- ・受託者は、市内の複数の社会福祉法人と連携協定を締結し、拠点施設として、複数の施設との連携による面的な支援を行う。

### 3 受託者と支援体制

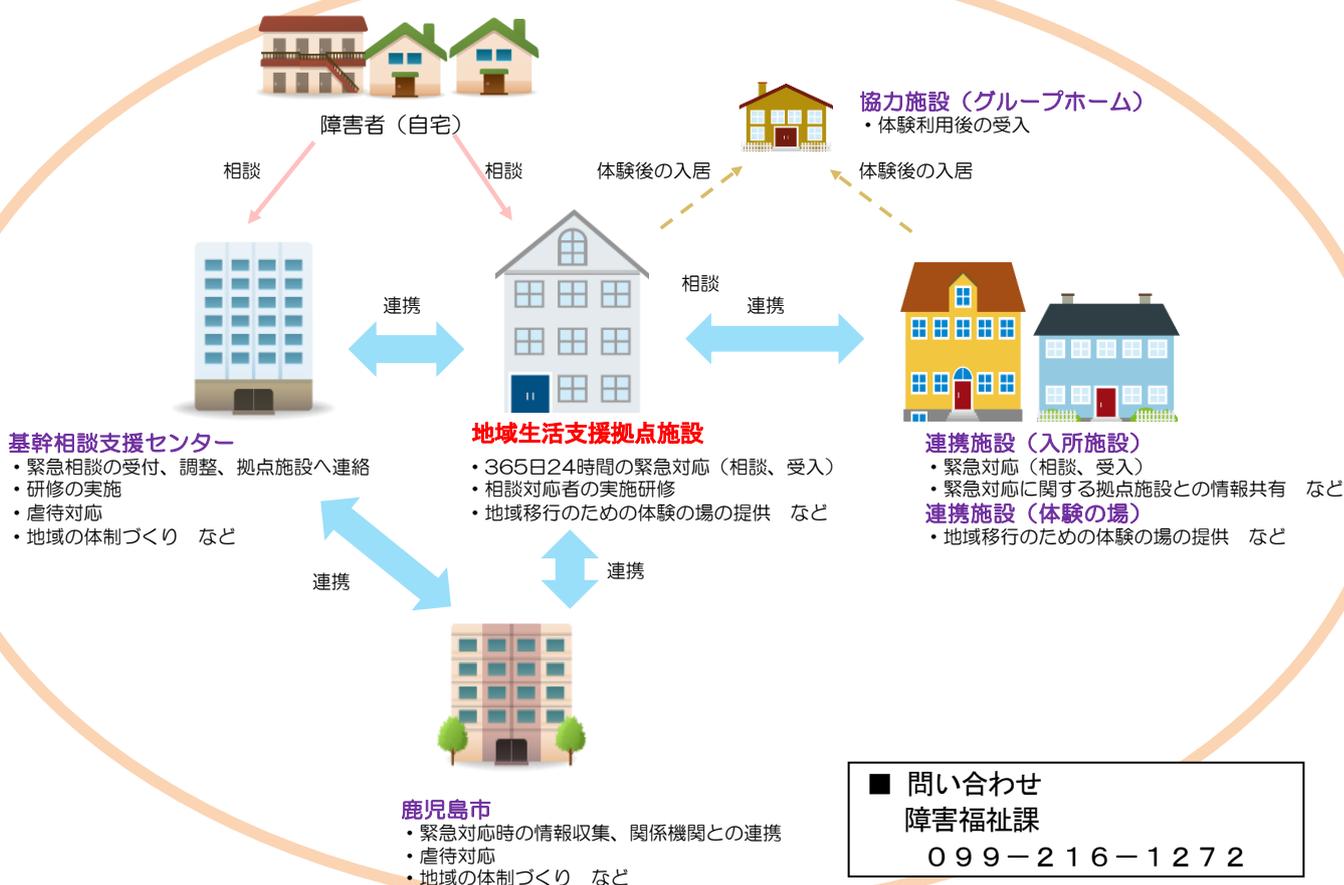
#### (1) 受託者

社会福祉法人ゆうかり

#### (2) 支援体制

- ① 拠点施設 地域生活支援拠点ゆうかり（草牟田一丁目8-7）
- ② 連携施設 障害者基幹相談支援センター、グループホームやショートステイ等の障害福祉サービスを提供している既存の事業所

#### 地域生活支援拠点のイメージ



## 5. コミュニティサイクル「かごりん」のサイクルポートの新設

今年度に創設した「コミュニティサイクル利用促進事業補助金」を活用して、国立大学法人鹿児島大学がキャンパス内にサイクルポート2か所を新設し、10月4日から供用を開始する。なお、今回が同補助金を活用した初めての事例となる。

### 1 設置場所

#### 鹿児島大学（郡元キャンパス）



#### 鹿児島大学（下荒田キャンパス）



### 2 オープニングセレモニー（主催：国立大学法人 鹿児島大学）

前田鹿児島大学長、森鹿児島市長が出席してオープニングセレモニーが開催される。

#### (1) 日時

10月4日（水）14時～14時20分

#### (2) 場所

鹿児島大学郡元キャンパス 学習交流プラザ かごりんサイクルポート前

### 3 「かごりん」の利用状況等

#### (1) 利用状況（平成27年3月供用開始）

- ・平成26年度 22,900回（3月のみ）
- ・平成27年度 131,954回
- ・平成28年度 138,466回
- ・平成29年度 80,125回（4～9月） ※前年度比118%

#### (2) サイクルポート数

計23か所（今回の増設を含む）



かごりんサイクルポート（郡元キャンパス）



■ 問い合わせ  
環境政策課

099-216-1296

## 6. 女性と仕事 応援を続けています！

6月に設置した「女性活躍アドバイザー」をはじめ、本市が重点的に取り組んでいる女性が職業生活で活躍できる環境づくりについて、引き続き様々に展開している各事業を紹介する。

### 1 女性の仕事と家庭の両立をサポートします

#### (1) 働く女性ためのトークカフェ

結婚や出産などのライフイベントに伴う仕事と家庭との両立など、女性が働き続けていく中で抱える不安や悩みについて、先輩女性や参加者同士で語り合い、気づきを得る機会を提供する。

① 日 時 10月22日(日) 10時～12時30分

② 場 所 サンエールかごしま

③ 対 象 市内在住・在勤の女性 20人

④ 概 要 ワールドカフェ方式(★)により、対話を重ね理解を深める。

★カフェにいるような雰囲気に参加者同士がリラックスし、気軽に自由に対話できるような環境で、テーブルごとに数人が議論し、メンバーを入れ替えながら議論を重ねる方法

#### (2) 働きたいママの就活応援講座(ハローワークかごしまとのタイアップ)

現在子育て中であるが、再就職をしたいと考えている母親たちが、就職活動の心構えや進め方などについてアドバイスを受けるとともに、参加者同士で語り合い、気づきを得る機会とする。これまで、りぼんかんなどの子育て支援施設で開催しており、今回が4回目となる。

① 日 時 11月6日(月) 10時～11時

② 場 所 北部親子つどいの広場(なかよしの)

③ 対 象 10組の親子(託児付き、10月23日から申込開始)

④ 概 要 座談会方式で行う

- ・ハローワーク(マザーズコーナー)職員による就職セミナーと両立支援をしている事業所の求人などの情報提供
- ・市職員による保育園に関する情報提供
- ・参加者同士のトーク



働きたいママの就活応援講座  
(7月19日・りぼんかん開催の様子)

### 2 女性の活躍を応援したい事業所を後押しします

#### (1) 女性活躍推進記念講演会・パネルディスカッション

鹿児島市女性活躍推進計画の策定を記念して、企業の経営層や管理職などの女性活躍に対する一層の意識醸成を図るため、講演会及びパネルディスカッションを開催する。

① 日 時 11月11日(土) 13時30分～16時

② 場 所 サンエールかごしま

③ 対 象 市内事業所等の経営層や管理職など(定員300人、10月31日までに申し込み)

④ 概 要 ア 市女性活躍アドバイザーによる講話

イ 基調講演

- ・演題:「経営経験ゼロからの会社経営…未来のために今できること」
- ・講師:伊藤麻美氏(日本電鍍工業株式会社 代表取締役)

ウ パネルディスカッション

- ・コーディネーター:大重康雄氏(鹿児島女子短期大学教授・地域連携センター長)
- ・パネリスト:「働く女性のためのトークカフェ」に参加した2人のロールモデル、市内事業所の管理職等2人、伊藤麻美氏

#### (2) 女性活躍応援講師の派遣

職場における女性活躍への理解を深める研修会等に対し、講師を派遣する。(無料)

#### ■ 問い合わせ

1(1)・2 … 男女共同参画推進課

099-813-0852

1(2) … 雇用推進課

099-216-1325

## 7. 合併50周年記念 第38回谷山ふるさと祭

昭和55年におはら祭の一環として始められた「谷山ふるさと祭」は、多くの谷山地域住民の支援協力のもと、谷山地区の一大イベントとして、今年38回目を迎えた。

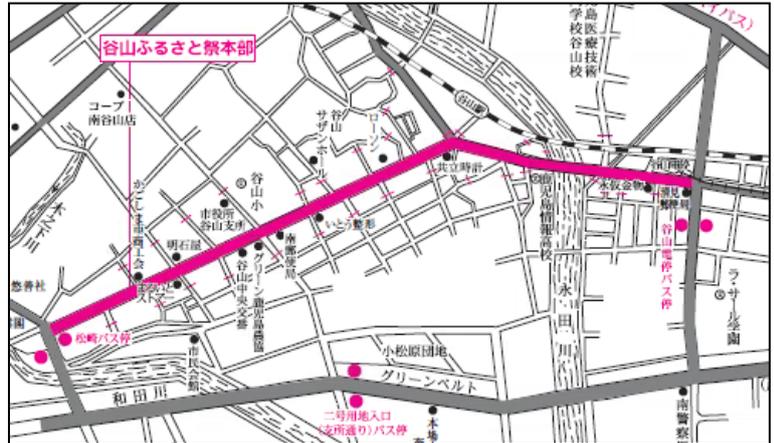
今年は、昭和42年に鹿児島市と谷山市が合併して50年の節目の年でもあることから、「合併50周年記念祭」と位置付け、これからの地域発展の思いを込めて作成した合併50周年記念のポロシャツを、市や商工会の職員などが着用し、地域ぐるみで気運を盛り上げている。

### 1 前夜祭

- (1) 日 時  
10月21日(土) 18時20分～21時
- (2) 場 所  
谷山サザンホール
- (3) 内 容  
ステージイベント、抽選会 など

### 2 本 祭

- (1) 日 時  
10月22日(日) 10時30分～16時
- (2) 場 所  
国道225号南警察署入口交差点～谷山港区入口交差点
- (3) 内 容  
音楽パレード、総踊り、浜下り、歩行者天国(フードトラックマルシェ、各種イベント等) など



本祭の開催場所



第38回谷山ふるさと祭ポスター



谷山市合併50周年記念ポロシャツ

■ 問い合わせ  
谷山支所総務課  
099-269-8403